

※LRT・BRTは、LRTライト・レール・トランジット、BRTバス・ラビット・トランジットの略。低床の路面電車やバスなどを活用した新交通システム。

◆区長の区政運営に対する基本的な考え方について

①区の諸課題解決に向けた決意を。②新しいビジョンと現在の長期計画との関係は。③地域の実態を把握し、区民と積極的に意見交換を行い取り組む。④新ビジョンは10年先を見据えた区の総合的な施策に関する基本計画。

◆副区長の役割分担は。

副区長 経歴による適性や組織の関連性を考慮して決定。

◆区の実現可能なエネルギーについて

区としての可能なエネルギー計画の策定を。①地域特性に応じた計画策定に向けて検討を開始する。

◆外部人材活用ならびに女性の登用について

①参与登用の具体的内容について

◆区長の基本姿勢について

①若手職員の育成は。②保育事業への民間参入と区立保育所の業務委託拡大・学童クラブの待機解消を。③介護と仕事の両立は。④大江戸線延伸の実現を。⑤外環の2の動きに併せ西武新宿線の立体化と上石神井駅の街づくりを。

①創造力向上研修を実施。②私立認可保育所の誘致等促進、区立は委託拡大。学童クラブは全児童対策が必要。健康福祉 ③国全体での取り組みが重要。区長 ④先頭に立ち、早期事業化を目指す。⑤まちづくりを進め、早期実現を都に働きかける。

西武新宿線連続立体交差事業の早期着手を

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

①地域の発展を促す。②区民と積極的に意見交換を行い取り組む。③新ビジョンは10年先を見据えた区の総合的な施策に関する基本計画。④副区長の増員と事業部制の廃止について

◆若手職員の活用について

①国や都に要望。②交通事故の減少やバスの導入空間等。③整備を推進。区長 ④都や隣接区市と連携して推進。

◆医療費適正化の取り組みについて

①データヘルス計画の区の取り組みと医療費削減目標の設定を。②国保データベースの先例である呉市のシステムの早期導入を。③システム導入により他の施策の充実を。

①区の方針を計画に位置付ける。28年度医療費の伸び率を対23年度比2%抑制する目標。②③取り組む。認知症対策について

◆国や都に強く働きかける。②整備推進に取り組む。③引き続き検討。

◆西武新宿線の連続立体交差事業について

野方駅以西の都立家政・鷺ノ宮駅の進捗と区内全区間の立体化に向けた取り組みは。早期の事業化を都に働きかける。

◆大江戸線の延伸について

具体的な取り組みと都庁出身の区長の決意を。

◆都庁の勤務経験も活用して、早期の事業化を目指す。

区民一丸で取り組む。

◆外かく環状道路と外環の2地上部街路などについて

①外環の早期完成を。②外環の2の地上部街路を積極的に。③新交通システム(LRT)の活用等を。

①障害者スポーツを支援。①障害者スポーツを支援

◆トップセールスについて

区長の考えを。イメージアップを図る広報戦略は。内外に区の魅力を情報発信し、戦略的な広報展開でイメージアップを実現する。

◆区立施設の改修・改築

①スケジュールと一層の活用は。②「国の公共施設等総合管理計画」との関係は。

◆まちづくりについて

①貫井・富士見台地区不燃領域率の危険度と公園等の用地の確保は。②公園・緑地の整備の進捗と優先区域外の整備促進を。

◆農の風景育成

①超高齢者施策の取り組みは。②高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者施策の取り組み

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

子育て、高齢者、障害者に優しい街づくり

練馬区議会自由民主党 笠原 はるひこ

今年度指定に向け都と協議。①練馬区地域防災計画の具体的な見直し内容、必要性とスケジュールを。②他の計画等への影響と周知は。

◆災害対策の充実について

①被災者台帳の作成等。11月素案、年度末決定し実効性を向上。②関連計画等見直しパンフレット作成等。

◆地域医療の充実について

①病床機能の具体的な議論と再編を。②地域完結型医療の構築を。③在宅療養の推進と研修などの取り組みは。

①急性期から在宅療養へ切れ目なく医療提供する。①急性期から在宅療養へ切れ目なく医療提供する

◆超高齢者施策の取り組み

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

区政を問う

一般質問(要旨)

◆子育て支援を柱として女性が活躍できる取り組みを。

①検討。②受け入れ体制の整備等。③強化する。

◆教育について

①教育委員会の改革と取り組みを。②理科離れの対策は。③中学の理科教育と専門の科学者による実験教育を。④こども科学館の設置を。⑤日本科学未来館等の活用を。

①練習場で教育を受けてよかったと思える学校教育により理科授業の充実等を図る。③拡充に努める。④調査・研究。⑤校外学習等を利用して

◆防災対策について

①中高層住宅防災対策ガイドブックを活用した防災対策を。②大型民間マンション組合との災害協定を締結すべき。③災害時の安定的な燃料確保のための協定再締結を。

◆危機管理

①地域ごとに開催する防災講座等に活用。②帰宅困難者対策が必要な地域の状況等を調査し検討。③協議が整い次第、協定を再締結。

◆オープンデータの推進について

①区が保有する公共データの活用をすべき。②公開されている全区政情報を二次利用可能にすべき。③災害時

◆シティブロモーション活用を。

①事業者の発意を区が支援し、まちの魅力を創出する。②横濱のしかるべき場所にテナシヨップの出店を。

◆高齢者の入居支援について

①持ち家のない高齢者の居住環境の把握を。②区の居住支援制度を見直し、連帯保証サービスを含めた「高齢者賃貸安心入居制度」の整備を。

◆子ども・子育て支援新制度

①閉鎖が予想される幼稚園の状況は。②幼稚園の認定子ども園への移行と支援および預かり保育の充実を。③今回の計画の理念と、在宅子育て家庭への支援の具体化を。

◆子ども・子育て支援新制度

①現在影響なし。②認定子ども園への移行支援を検討。預かり保育の拡充を図る。③全ての子どもが家庭の支援充実を計画の中で具体化

◆外出時の子どもの安全対策

①ベビーカーマークの普及を。②幼児健診時に自転車安全利用の周知と出張講習会開催を。③警察と連携し妊婦のシートベルト着用推奨を。

◆健康福祉

①ポスター等で周知。②保育園等での実施を検討。③警察と連携し、正しい知識の普及啓発を強化。

◆インターネット依存対策

①小中学生のインターネット依存実態調査の実施を。②メディアとの向き合い方の啓発活動。③小4から情報モラル講習会の実施を。④情報モラルとコミュニケーションを学ぶ合宿事業の実施を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

◆超高齢者相談センターの機能強化

①超高齢者相談センターの機能強化を。③人材確保事業の取り組みと担い手の環境整備を。

※NICU:ネオネイタル・インテンシブ・ケア・ユニットの略。新生児の集中治療室。

*クラウドファンディング:ある目的などのため不特定多数の人から資金を集める行為、またそのためのネットサービスのこと。大衆(funding)と財政的支援(funding)を組み合わせた造語。
*ALT:アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略。日本の中学・高校で日本人教師の助手として外国語を教える外国人講師。

◆区長の基本姿勢について

①集団的自衛権行使容認は、憲法9条なくし戦争する国にすること。区は声をあげ行動せよ。②消費税10%増税の中止を求めよ。③原発再稼働差し止めた福井地裁判決への認識は。④国に原発ゼロ求めよ。⑤国のいいなりやめ、「福祉の増進」の立場に立て。

◆医療問題について

①練馬に大塚病院の分院つくれ。②豊島医療公社病院のNICU再開を。③光が丘病院に周産期連携病棟の指定を。④小児医療・小児救急充実のため、専門医師配置の病

◆区長の基本姿勢について

①平和憲法をなす崩しにする国の状況を区長はどう考えるか。②原発ゼロを掲げ、自然エネルギーによるまちづくりを積極的にすすめるべきでは。③子どもの権利条約を踏まえた条例で権利擁護に取り組め。④区長の考える「男女平等」とは。⑤市民自治は受継がれてきた。「新しい自治・区民との協働」とは何か。

◆区長が変った今こそ、区政の転換を!

生活者ネット、ふくしフォーラム やない 克子

◆子どもの権利擁護について

①いじめを指導で止めるのではなく、子どもの課題解決能力を育むべき。②都区移管の児童相談所の責任を区長は教育委員会に委任するのか。③教育委員会の力量を高めながら子どもの力を育む。④教育委員会が所管し、関係部署と緊密に連携して進める。

◆燃却施設の建て替えについて

①焼却施設ではなく資源循環施設に転換すべきだがど

◆燃却施設の建て替えについて

①焼却施設ではなく資源循環施設に転換すべきだがど

◆歳入について

①自主財源の確保のため駐車場のコインパーキング化と、広告収入の導入を。②クラウドファンディングの活用を。③区有財産有効活用へのプロジェクトチームを。

◆産業振興策について

①検討。②導入自治体を研究。③検討組織を設置。

◆国際交流について

①アヌシー市とのアニメ産業交流協定の今後の展望を。②アニメ製作を学ぶ生徒の交換留学を。③まちの景観はモデル地区を決めて実施を。④海外の都市との友好提携を。

◆子どもを産みやすい環境整備について

①現在の社会的に合わせ妊婦の電子申請と母子手帳郵送も可能とする考えは。②妊婦超音波検査の回数増加に対する考えは。③出産一時金を超える分娩施設が増加していることを考え、助成金の仕組みの検討を。④少子化・人口減少社会を考え、前川区長は、出産しやすい環境をどのように考えるのか。

◆保育士不足への対策について

①区内の保育士不足の状況は。②潜在保育士確保に向けた取り組みを東京都と連携し、強化する考えは。

◆区立中学校における部活動のあり方について

①部活動に対する課題の認識は。②外部指導員の体制と役割強化を。③顧問教員の実態調査および外部指導員との役割分担の明確化を。④顧問教員へのフォロー体制を含めた支援を。

◆(仮称)ねりまシティマラソンについて

①大会名称は慎重に選考を。②全国に対する情報発信方法と経済効果は。③子供ボランティアと区内企業ボランティアの募集を。④区内財政状況を考え、特別招致ランナーには埼玉県で頑張っている公務員ランナーを。

◆燃却施設の建て替えについて

①焼却施設ではなく資源循環施設に転換すべきだがど

※サーバー仮想化：単一のサーバーを複数のサーバーのように使える技術。
※クラウドコンピューティング：インターネットを通じて様々なサービスやソフトウェアを利用できる仕組み。

◆認知症対策への取り組みと課題について

問 ①予備軍を含めた認知症有病者数は、現在の全国高齢者人口約4分の1に当たる約860万人と試算される中、特に昨今、徘徊による行方不明者の検索の課題が表面化している。練馬区の検索ネットワークの現状、課題と対応策について問う。②今後活用が増えると思われる成年後見制度について、若い世代も含めた区民の皆様に、成り手の実態や制度が悪用されるケースなどを含め、より具体的な情報提供を行うべき。考えは。

高齢化等への対応の為に 経費見直しに取組む

練馬区議会みんなの党 さわむら 信太郎

福祉 ①平成23年度から認知症高齢者徘徊対策ネットワーク事業を開始。運用や個人情報に課題。区民の理解や見守りの仕組みを強化し、警察や消防とさらに連携を深める。②練馬区社会福祉協議会が各種相談を実施。本人と家族を含め、幅広い世代に制度の周知を図り、普及を推進する。

種相談を実施。本人と家族を含め、幅広い世代に制度の周知を図り、普及を推進する。今年度で策定する新しいビジョンの中で具体的な方向性を明らかにする。
◆さらなる財政改革について
問 区では、単純定型業務の委託・指定管理化を進め、サービス向上と職員数削減を図る。高年齢化等への対応の為に経費見直しに取組む。練馬区でも国民健康保険や介護保険、会計管理の専門定型業務への民間参入による外部化を進め、経費削減分を社会保障費や施設更新費に当てるべき。考えは。
区長 効率的・効果的にパフォーマンスのとれた執行体制の構築が重要。将来にわたり持続可能な技術を導入し、設備投資費、委託費、電力料金の削減、空いたスペースの返却や有効活用により、電気料金を除き年間約38億7千400万円削減しているシステム運用経費の圧縮に努めよ。考えは。
企画 平成25年度から、情報システムの効率化・高度化に向けクラウドコンピューティ

◆国民健康保険について

問 ①国民健康保険の取り上げを見直す意思があるか否か。②資格証の発行は悪質な滞納者に限ること。③機械的な保険証の取り上げをやめ、医療保障を最優先に。
区民 ①保険料の納付を促す法令上の有効な方法であり、引き続き実施。②「特別な事情」があると判断できない世帯に対し資格証を交付。現行の取り扱いとは適正と考える。

待機児童解消は認可保育園中心に整備する方針の継承を。③全児童対策は見直し、学童クラブ施設の増設を。④子どもと安全と放課後生活の充実を。
教育長 ①認可外保育施設に加え今夏までに開設予定の施設を案内する。②総合的な取り組みにより待機児童を解消。③全児童対策は有力な対応策として、具体化に向け検討。④特別養護老人ホームについて
問 ①新たな長期計画では定員を増やし、待機者解消を。②増設のため、国や都に対し、公的支出を元に戻すよう求めよ。③「医療・介護推進法

国保証の取り上げ止め、 区民のくらしを守れ

日本共産党練馬区議員 やくし 辰哉

◆子育て新制度について
問 議論も準備も周知も不十分、現行制度の水準引下げは許されない。施行の凍結を国に要請し、区としても延期を。
教育長 27年4月の本格実施に向けて着実に準備を進める。
◆認可保育園・学童クラブについて
問 ①どこにも入れなかった487人の待機児への対策は。②

日本共産党練馬区議員 やくし 辰哉
き上げについて
問 ①労務単価引き上げ後も、賃金は横ばいの実態に対する認識は。②公契約で働く労働者の実態を把握せよ。③公契約条例など労働環境改善に必要な措置の検討を。
総務 ①平成25年の国の調査では、賃金水準が上昇している。②国が定期的に調査を実施

◆区長の基本姿勢について

問 ①安倍内閣の集団的自衛権論議をめぐる海外で武力行使をする国づくり、戦争する国づくりへの暴走があるが、憲法遵守の立場とともに、立憲主義の原点を捨て去るあり方に意見を上げるべきでは。②原発再稼働を許さない裁判結果が示されたが、練馬区は、まだ「原発は必要、原発再稼働容認」の立場を取るのか。
教育長 会議室等利用団体アンケートでは、約7割が現状維持を希望。あり方を検討中。蓋付き飲料は一部施設で試行開始。拡充に向けて検討。

ンク導入に着手。27年1月からサーバーの仮想化と併せ、区外データセンターを活用した運用を順次開始の予定。2割程度のコスト削減を目指す。
◆区立図書館について
問 生涯学習講座等に積極的に取り組む利用者のため、図書館会議室等の利用申込期間の拡大、また全区民の利便性向上のため蓋付き飲料の持ち込み解禁を早急に図るべき。

介護・医療制度改悪に反対の意見を上げるとともにこれに苦しむ区民を守る対応を図れ。
総務 ①国政の場で論議を尽くすべきもの。②安全性確保を大前提に可能な限り依存度を低減するべきと考え

戦争する国家、 福祉切り捨ての大暴走許さじ

練馬区議会民権のちから 松村 良一

③再生可能エネルギーの大規模な普及に向けた区独自の取り組みと低エネルギー社会への転換を図れ。④憲法25条の生存権すら根底的に破壊する

時代が高齢者・障がい者などの福祉制度を切り捨てたが、練馬でも福祉を切り捨てるのか。②評判の悪い認証保育所を創設したが、肝心かなめの公的保育の充実や認可保育園への待機児ゼロを進めるのか。

ケート実施などで民意を問い、住民合意が得られなければ、潔く中止を働きかけよ。②集合住宅や戸建て住宅などの耐震化促進のため、支援策の抜本的強化を。③都市農業・都市農地の保全策を強化すること。④農協中央会や全国農業会議所の廃止、農業委員会解体、農業への企業参入促進等の動きに中止を求めよ。⑤雪害で倒壊したビニールハウス等への支援策を明らかにせよ。
都市整備 ①都が責任を持って対応。現時点でアンケートは必要なし。②耐震化の普及啓発と助成制度で耐震化を推進。③前川区長を会長とする都市農地保全推進自治体協議会において法制度の早期改正を目指す。④国の議論を注視。⑤被害状況を把握し、国や都と支援策を協議中。

区政を 問う

一般質問(要旨)

③区としては、民間の労働条件に介入する考えはない。

◆「外環の2」について

問 建設ありきの拙速な進め方は許されない。都に対して方針の撤回を求めよ。
区長 求める考えはない。

◆関越高架下活用について

問 ①住民合意が図られていないと認識しているか。②国交省の考え方が隔たりある、問題の多い計画は見直すべき。
企画 ①区議会が計画の早期実現を求める陳情を採択しており、区民意向を反映したものと認識。②沿道の住環境に配慮した施設整備に努める。



ご利用ください

「声の区議会だより」と「点字版区議会だより」 を発行しています

区内にお住まいの目の不自由な方を対象に、本紙の内容を録音した「声の区議会だより」と点字した「点字版区議会だより」を年4回発行し、希望する方に無料でお送りしています。

「声の区議会だより」は、カセットテープ版とデジター版(CD-R)の2種類があります。

ご希望の方は、議会事務局調査係までお知らせ下さい。



※デジター…カセットテープに代わる次の世代の録音図書のための国際標準規格。

問い合わせ：議会事務局調査係 03-5984-4736